



01 国語教育 日駒の教育の基盤

日駒では、母国語である日本語の力、すなわち読む・書く・聞く・話すの4つの技能こそが、私たちにとっては基盤となるとも大切な力だと考えています。ものごとを考えるための道具となる国語の力について3年間を通して、きちんと身につけてほしいと願っています。そのために図書館を日駒の“知”の象徴として、学校の中心に据えました。言葉の感性を磨き、人柄を育みます。

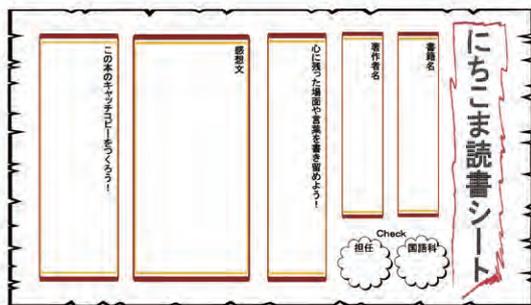
読解力と表現力を磨く

能動的読書体験

年間10作品程度の課題図書を提示し、さまざまなジャンルの作品に触れてもらうなかで、自分なりの読書活動ができるようになることを目指すプログラムです。

目的

- 書物の中に広がる世界を仮想体験することにより読書の「楽しさ」を実感する。
- 読書を通して知的活動の基礎となる思考力と情緒を育む。
- 生涯にわたって読書に親しもうとする姿勢や読書力を醸成する。
- 読書を通して豊富な語彙を獲得する。



にちこま読書シート

心に残った場面や言葉をヒントに、短い感想文と本のキャッチコピーを書きます。自分の考えや思いを端的に伝える力や、感動を効果的に人に伝える表現力を磨きます。



文章表現養成講座

語彙力を強化しながら、自分の考えを文章にまとめる力を養成します。その上で、大学入試のさまざまな学部学科から出された過去問にも取り組み、入試対策をします。生徒たちは自分の考えを文章に表現する難しさを知り、自身を磨いていく講座です。

ライティング・スキル講座

言葉の語彙力を少しでも増やしていく中で、意味を正確に読み取り理解することで表現の仕方も豊かになります。本講座では文章の書き方や資料・レポートの作成方法を中心に学びます。また多様なテーマの文章に触れ、語彙力の増進に努めます。さらに教員からの添削を受けることや、クラスでの意見交流、発表活動などさまざまな形での言語活動をすることで多角的な視点や深い思考力を養います。ここで身につけた力は受験での小論文・志望理由書の作成、面接試験やプレゼンテーションといった自己表現をする際の基盤になります。



進学を重視する学校へと生まれ変わり、
そのシンボルとして新しい図書館が校舎の中央にあります。

日駒図書館

最大の特色は、本校舎1階の中心に位置していることです。いつでも気軽に訪れ、本に親しむことができる環境が整っています。昼休みや放課後には多くの生徒が集い、読書や学習の場として広く活用されています。館内は明るく開放的なデザインで、円形ソファやベンチソファに加えて図書館専用のコーヒーサーバーもあり、ほっと一息つき心安らげる空間となっています。蔵書は約30,000冊あり、新聞6紙と雑誌10誌が配置されています。日駒生の「読みたい」「知りたい」「学びたい」という気持ちを大切に、あらゆる学びの拠点としてこれからも支援していきます。

多くの本との出会い

常時たくさんの本を展示し、日駒生ができる限り多くの本と出会う工夫をしています。借りるまで入っている本がわからない「本の福袋」やPOPコンテストの開催など、年間を通して楽しく読書活動に触れられるイベントを実施しています。また、おすすめの本の選定や紹介文・帯の作成等、生徒たちが主体となって活動する図書委員会も盛んです。



読書へ向けたさまざまな展示



鉄道研究部との企画展示

主体的で深い学びのために

各授業担当者と連携をはかり、探究活動に対応でき、より深く学習できる環境を整えています。日駒生が主体性を持って図書館を利用し、適切な情報活用能力を身につけられるよう、資料の探し方やレポート作成の支援も行います。

